

平成 24 年度若手研究者国際短期派遣事業研究滞在記

粒子ビーム科学研究領域
不破康裕

2012 年 10 月 20 日から 11 月 20 日の期間アメリカ合衆国に渡航させて頂きました。この滞在の主な目的は LCWS12 (International Workshop on Future Linear Collider)への参加及び BNL (Brookhaven National Laboratory)において新しく開発したレーザーを用いて発生するプラズマの検出器の試験を行うことでした。

10 月 21 日から 26 日はカリフォルニア州立大学アーリントン校で開催された LCWS12 に参加しました。この会議は ILC (International Linear Collider)等の高エネルギー線形加速器に関するもので、開催時期が ILC の技術設計書の完成間近でかつ 2012 年 7 月に Higgs 粒子と見られる新粒子の発見もあつたことで非常に議論が活発な会議となっていました。

10 月 27 日にはニューヨーク州の BNL に移動しました。しかしながら、BNL 滞在開始直後にハリケーン 'Sandy' がアメリカ北東部に上陸したため 2 日間研究所が閉鎖となつてしまいました。私は研究所敷地内のドミトリーに宿泊していましたが、研究所の閉鎖中は研究はおろかドミトリーから外出することもできませんでした。幸い研究所には直接的な被害はありませんでしたが、周辺地区では停電やガソリン不足などによる混乱がハリケーン通過後 1 週間近くに渡り続いていました。私自身も研究所が閉鎖になった影響で実験室に入るのに必要な保安教育を受けることができず、滞在 1 週目は実験を行うことができませんでした。2 週目に入りようやく保安教育を受講でき実験室への入室が許可されました。その後は BNL のレーザーイオン源グループの方々の協力もあり、実験を集中的に行うことができました。実験の合間には食事やコーヒーを手に雑談したりと研究以外の面でも BNL の方々と積極的に交流することができました。滞在時期がちょうどハロウィンや大統領選挙、サンクスギビングの時期であったこともあり、そういった行事について話を聞くことでアメリカのことを知ることができました。

最後になりますがこの渡航を支援して頂いた化学研究所の若手研究者国際短期派遣事業に携わる皆様、私を受け入れてくださった BNL の皆様に感謝申し上げます。



入射器棟の方々とのランチでの 1 枚